

学校教育目標	「一人ひとりが輝く光の子」一人ひとりが考える・感じる／理解する／伸びる／行動する				
	○自分なりの気づきや疑問を大切に、粘り強く解決に向かう子を育てます。(知) ○人とのふれあいを大切に、自分や友達のよさを感じ取れる子を育てます。(徳) ○自他の生命を大切に、心身共に健康に生きようとする子を育てます。(体) ○まちの人やものを大切に、自分たちのまちで生きようとする子を育てます。(公) ○様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開)				
学校概要	創立 127 周年	学校長 松本 久美子	副校長 源関 正浩	2 学期制	一般学級: 28 個別支援学級: 6
	児童生徒数: 956 人	主な関係校: 旭小学校、上寺尾小学校、寺尾中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<主体的に学び続けるための力> <思いや考えを表現する力> <よりよい社会の実現を目指す力>	寺尾中学校 旭小学校 上寺尾小学校	<主体的に学び続ける子><自信をもって自分らしさを表現できる子><地域とのつながりを大切に、進んで挨拶ができる子> ○定期的にブロックで行う教務主任会、専任会を通して小中学校の様子や継続的な指導の成果を共有する。 ○小中職員交流会、合同授業研究会、小6児童の情報交換会を通して、学校代表以外の教員も子どもたちの実態を知り、日々の指導に生かすことができるようにする。

中期取組目標	○安心して自分らしさを発揮できる学校づくりを進めます。 ○児童一人ひとりの能力や個性の高まりに向けて、共に学び互いに認め合う価値ある学習活動をめざし、教育課程の改善・工夫を進めます。 ○自己肯定感、有用感に満ちた児童育成をめざし、OJTの活性化による全職員の人権感覚や特別支援、授業づくり等の資質向上を図ります。 ○地域の教育力を大切に、学校・家庭・地域が一体となって9年間を見通した「地域に根ざした教育活動」を進めます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①日々カリマネを行い子どもの身近な疑問や課題をもとに問題意識をもった主体的、対話的で深い学びにつながる授業づくり②スキル学習やT.T、教科担任制、授業交換等により、習熟、個に応じた指導の充実を図り、成就感や不安感に対応③指導を重点化し学年に応じた課題、家庭学習の習慣化。
担当 研究委員会	
豊かな心	①道徳教育の充実、児童を励ます評価による豊かな情緒育成②ペア学年交流、児童実行委員会の活性化、自分の役割を果たすことを通し自己肯定感を高め、よりよい人間関係作りをめぐる③気持ちの良い挨拶の推進のため、児童会活動や学校・保護者・地域連携④特活研究推進
担当 光の子委員会	
健やかな体	①保健委員会を中心に感染症予防について積極的に取り組む②1校1実践運動として、なわとびに取り組む③食育部を中心に食教育に取り組む、食に興味をもち、望ましい食習慣を身につけるようにする④毎月避難訓練を実施し、防災安全に対する意識を高める
担当 防災・安全委員会	
特別支援教育	①外部の関係機関との連携を図り、児童理解や支援の質を高める②月1で校内特別支援委員会を開催し、具体的な支援について話し合う③週1の打ち合わせや職員会議、運営会議などで共通理解を図る④研修を計画的に行い、特別支援に対する全職員の意識を高める
担当 特別支援委員会	
教育課程の改善	①新学習指導要領やGIGAスクール構想等の理解を深め、研修に参加したり情報収集をしたりし、カリキュラムの検証や再編成を行う②学年や教科研究担当者で協力して教材研究を行う。日々の授業実践を見合う③先進的実践を行っている他校の授業を積極的に参観し授業力の向上を図る
担当 研究委員会	
児童生徒指導	①東台スタンダードをもとに全教職員による一貫性のある指導を行う②日常のかかわりやアンケートなどを通して児童の実態をよく把握しからかいやいじめ等を許さない毅然とした指導に努める③児童の実態把握を教職員で共通理解し、支援や見守りができるように努める
担当 指導委員会	
学校運営協議会	①学校だよりを通して、学校や学校運営協議会が取り組んでいる事柄について広く周知する②保護者や地域との連携を深め、問題解決に向けて意見交換を行う③学校地域コーディネーターと連携し、特別支援体制を充実させたり、研修会を適宜行ったりして児童理解を深める
担当 運営委員会	
担当	
いじめへの対応	①児童の日常の会話、アンケートや保護者との面談などを通して得た情報をもとにいじめ未然防止に努める②児童支援専任教諭を中心に複数の教職員で対応に当たり、被害者児童、および保護者への支援、加害者児童、および保護者への指導を行う③継続的な見守りと支援を行う
担当 指導委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①校内における各研究会の活性化を図る②若手教職員の活力を学校全体の活性化につなげていくために、校内組織では若手を積極的に起用する③教職員一人ひとりの有用感が高まるように、一人一役で学校運営に係われるようにする④GIGAスクール構想を担う担当部署を新設し、スムーズな運営を図る
担当 運営委員会	